



東京北社会保険病院 (ニックネーム: 北社保)の現状

専門家会議資料

社団法人地域医療振興協会

東京北社会保険病院

H20.1.28





1. 北社保の目標と概況

- 目標: 地域の住民、医療機関、行政との連携を大切にし、愛され、親しまれ、信頼される医療機関となることを目指す。
- 施設概況: 東京都北区(33万人)唯一の200床を超える病院。分娩ができる唯一の病院でもある。当院の所在する東京都西北医療圏(北、板橋、練馬、豊島)は、21日の発表では、病床不足地域(13,865床-13,276床=589床不足)となっていると伺っております。
- 病院: 280床(うち、産科41床、小児科30床、ICU4床、開放病床5床)
診療科目: 18診療科
指定: 臨床研修指定病院
東京都二次救急病院
北区災害拠点に準ずる病院
北区夜間こども救急医療





1-1. 北社保の施設・設備

北区赤羽台4-17-56: 赤羽駅、1.5Km

敷地面積: 3万4千m²

建築延床面積: 2万4千m²

許可病床数: 一般病床280床

併設:

東京北社会保険病院老人保健施設

「さくらの杜」: 100床

デイケア: 定員35人

健康管理センター、透析センター

臨床研修センター、

訪問看護ステーション、

職員宿舎、院内保育園

赤羽ハウス

- 主な医療機器

MRI(1.5T) CT2台(64列、4列マルチCT)

ガンマカメラ、血管造影装置、骨塩測定

マンモグラフィー(2台)、結石破碎機

3Dエコー

- 医療情報システム

電子カルテシステム

画像ファイリングシステム

外来順番待ち表示システム

ベッドサイドモニター(internet、TV)

MOSS(院内グループウェア、指標管理)



院内保育所



院内職員宿舎



2. 北社保の受託者 社団法人地域医療振興協会について

- 設立の趣旨
へき地等の医療の確保と質の向上を図りもって地域の振興を図る
- : へき地医療＝医師、看護師確保
- 村おこし、地域おこしを保健・医療・福祉(雇用力↑)で
昭和61年：自治医大の卒業生を中心となって誕生。
- 医師を正会員とする民法34条の公益法人
- (総務、厚労省共管)

みんなで力を合わせて地域医療を！

歴代会長：中尾喜久

高久史麿（自治医大学長）

現在会員数：1600名、34施設、職員：4000名、医師：450名



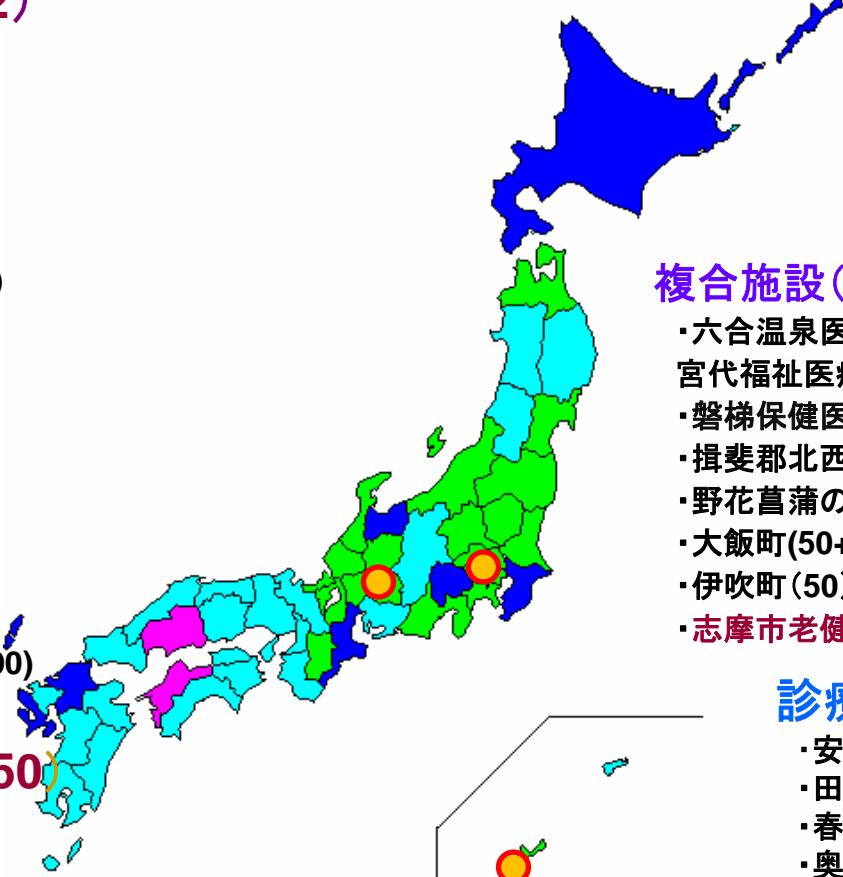
病院(14:2683+842)

- 横須賀うわまち病院(425)
- 大村市立病院(322)
- 市立奈良病院(300)
- 東京北社会保険病院(280)
- 伊東市民病院(250)
- 飯塚市立病院(250)
- 中山温泉医療センター(199)
- 丹南病院(199)
- 市立恵那病院(199)
- 黒川病院(170)
 - ・共立湊病院(154)
- 上野原市立病院(150)
- 石岡第一病院(126)
- 台東区立病院(120)
 - ・西吾妻福祉病院(111)
 - ・日光市民病院(100)
 - ・湯沢町保健医療センター(90)
- 東海病院(80)

老健施設(4:355+150)

- なぎさ園(80)
- にっこう(50)
- さくらの杜(100)
- みはらし(125)
- 台東区老人保健施設(150)

・へき地の施設



協会の 運営施設 2008

複合施設(7:老健430+有床診療所111)

- 六合温泉医療センター(50+19)
- 宮代福祉医療センター(80+19)
- 磐梯保健医療福祉センター(100+19)
- 揖斐郡北西部地域医療センター(50+16)
- 野花菖蒲の里(50+19)
- ・大飯町(50+19)
- ・伊吹町(50)
- ・志摩市老健・診療所(100+19)

診療所(8)

- 安良里診療所
- 田子診療所
- 春日村診療所
- 奥日光診療所
- 白糠診療所
- 稻梓診療所
- 奈良市立柳生・田原診療所



3. 東京北社会保険病院 開設時の条件/沿革

必要条件

1. 24時間365日
- 小児救急医療の確保
2. 休日夜間二次救急
3. 地域医療連携(開放病床;5床)
4. 施設改修費の積立

契約時の提案条件

1. 災害時の災害拠点機能
2. 臨床研修指定病院
3. へき地・離島支援
4. 協会本部費負担

沿革

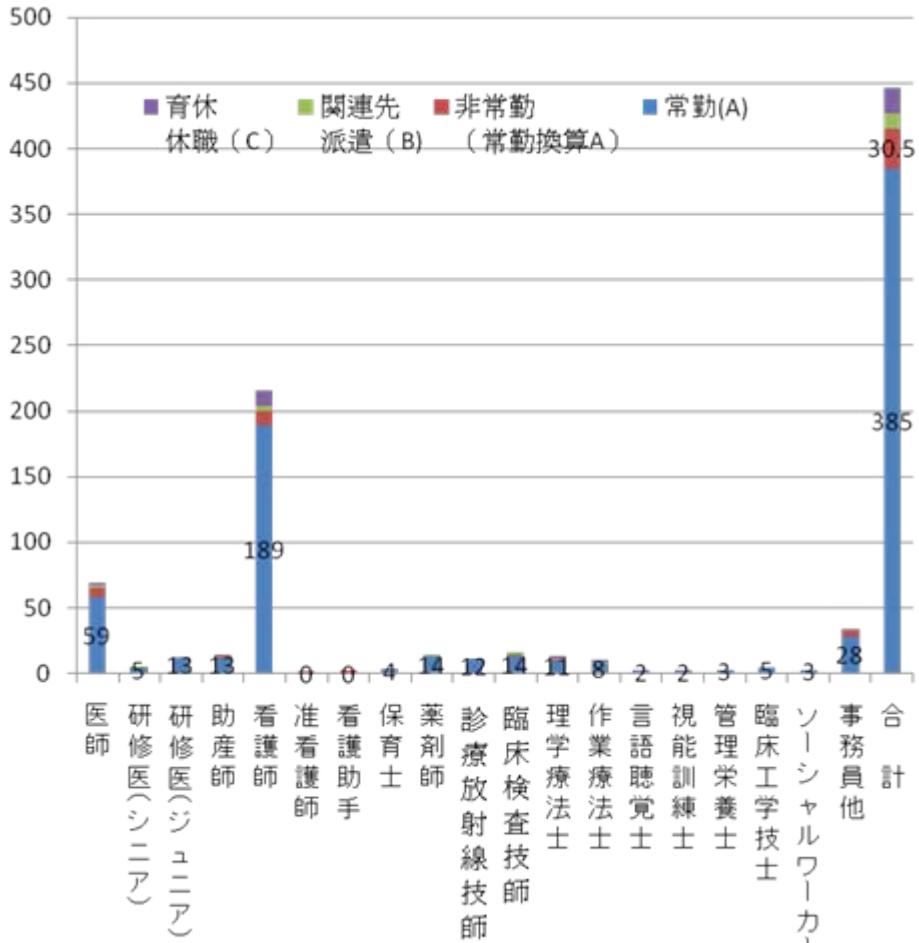
- H15年 6月 : 受託決定
H16年 1月 : 老健開所
H16年 4月 : 病院開院(91床)
H16年 5月 : 東京都二次医療機関指定
H16年10月 : 臨床研修指定病院認可
H17年 4月 : フルオープン(280床)
H18年 4月 : 北区子ども夜間救急事業受託
H18年 8月 : 患者満足度調査(167病院中
 入院8位、外来13位: 国立保健医療科学院)
H18年11月 : 病院機能評価
H19年12月 : 北区議会
「東京北社会保険病院の機能拡充」意見書



東京北社会保険病院

マンパワー(H19.11.1)

(平成19年11月1日現在)						
職種	常勤	非常勤 (常勤換算)	合計	関連先 派遣	育休 休職	
医師	59	6.9	65.9	1	2	
研修医(シニア)	5	0	5	1		
研修医(ジュニア)	13	0	13			
助産師	13	2.0	15			
看護師	190	10.9	200.9	4	7	
准看護師	0	2.0	2			
看護助手	0	3.4	3.4			
保育士	4	0	4			
薬剤師	14	0	14	1		
診療放射線技師	11	0	11			
臨床検査技師	13	0.2	13.2	2		
理学療法士	12	0.2	12.2	1	1	
作業療法士	9	0	9	1	1	
言語聴覚士	2	0	2		1	
視能訓練士	2	0	2		1	
管理栄養士	3	0	3			
臨床工学校士	5	0	5			
ソーシャルワーカー	3	0	3			
事務員他	28	5.3	33.3		1	
合計	386	30.9	416.9	11	14	





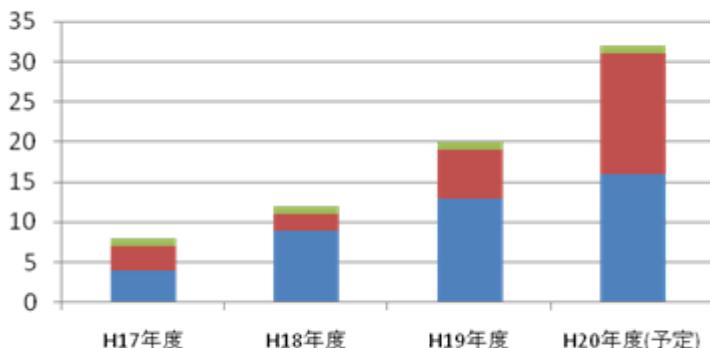
4－1. 医師確保

地域医療研修センター・女性医師

研修医数推移

	研修医	専修医	専任指導医
H17年度	4	3	1
H18年度	9	2	1
H19年度	13	6	1
H20年度(予定)	16	15	1

■ 専任指導医 ■ 専修医 ■ 研修医



国内外留学制度

OHSU(オレゴン健康科学大学)
京大MCR(大学院)

診療科別医師数と女性医師

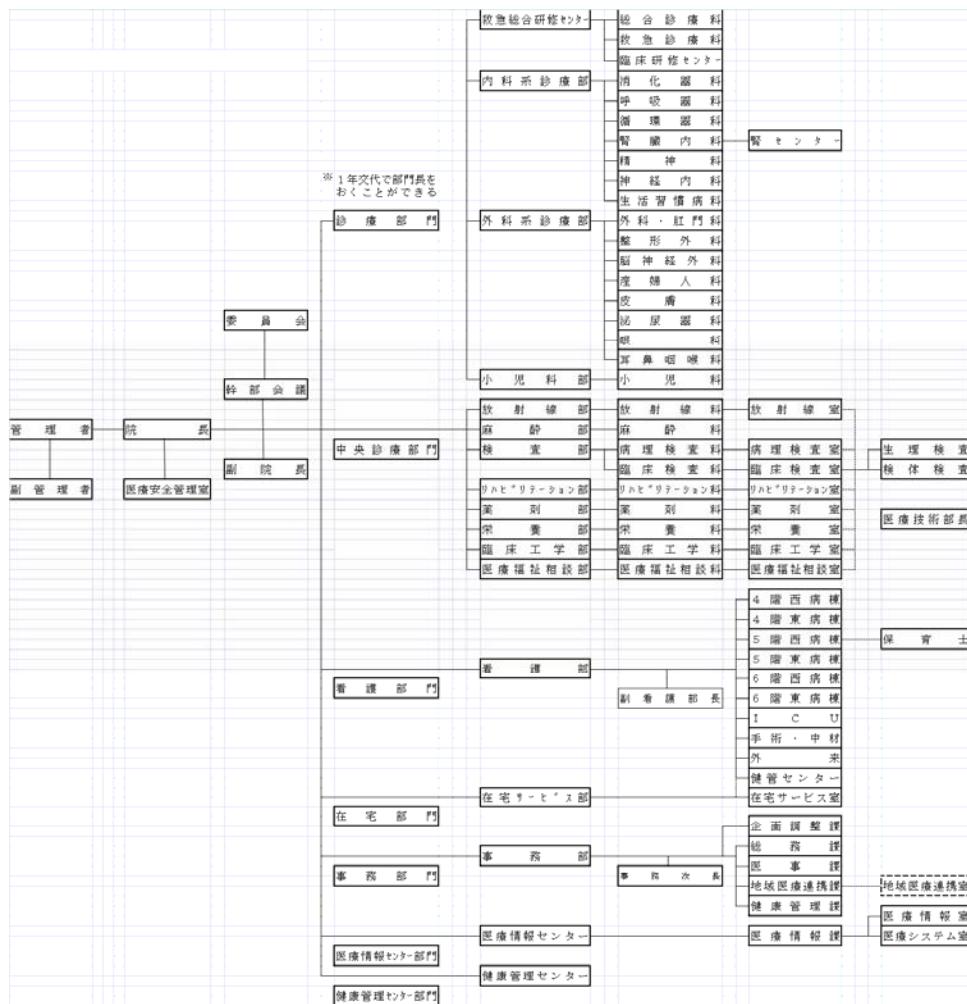
平成20年1月1日 現在

	常勤		率	非常勤		率
	診療科 全体	女性医 師		診療 科全	女性 医師	
救急・総合診療科	8	1	14%	0	0	0%
循環器科	3	0	0%	0	0	0%
消化器科	5	1	20%	1	0	0%
呼吸器科	2	2	100%	0	0	0%
腎臓内科	1	0	0%	3	0	0%
内分泌科	1	0	0%	0	0	0%
神経内科	1	1	100%	1	0	0%
精神科	0	0	0%	1	0	0%
外科	7	1	14%	1	0	0%
整形外科	3	1	33%	2	0	0%
脳神経外科	2	0	0%	3	0	0%
耳鼻咽喉科	1	0	0%	4	1	25%
泌尿器科	1	0	0%	1	0	0%
眼科	2	1	50%	0	0	0%
皮膚科	2	2	100%	1	1	100%
リハビリ科	1	1	100%	1	0	0%
産婦人科	6	2	33%	1	0	0%
小児科	9	2	22%	11	6	55%
麻酔科	2	1	50%	5	2	40%
放射線科	2	0	0%	3	0	0%
病理科	1	1	100%	0	0	0%
健康管理センター	2	1	50%	1	1	100%
計	62	18	29%	40	11	28%
研修センター(シ)	19	5	26%	0	0	0%
合計	81	23	28%	40	11	28%

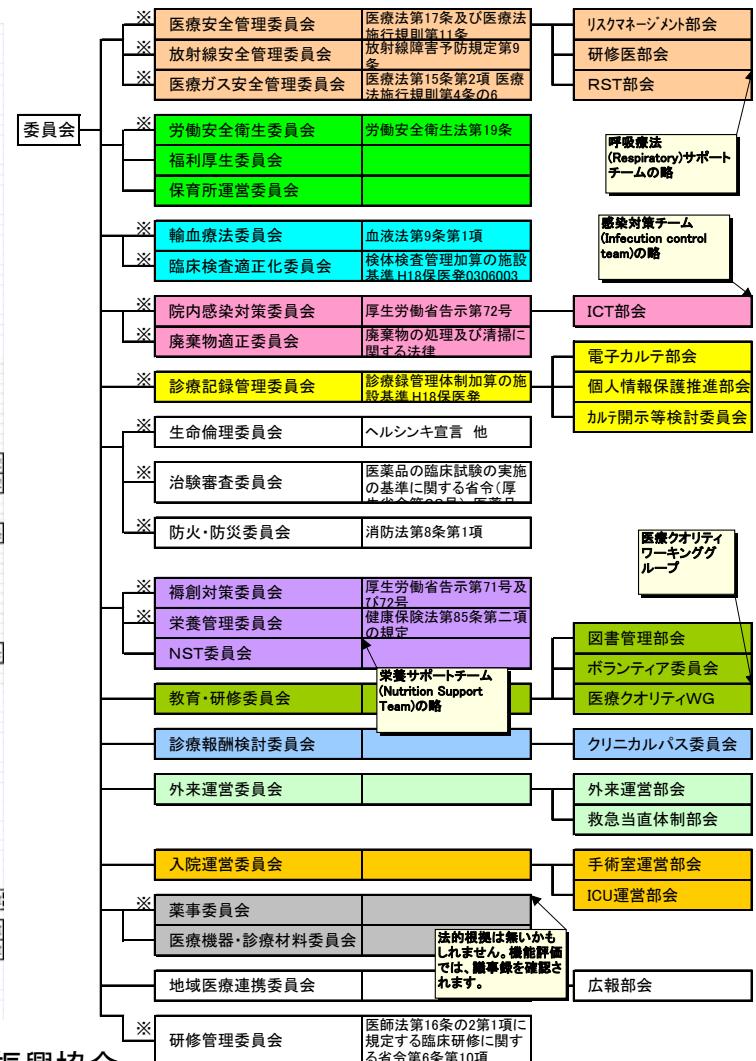


5. 北社保の組織

組織は6部門17部



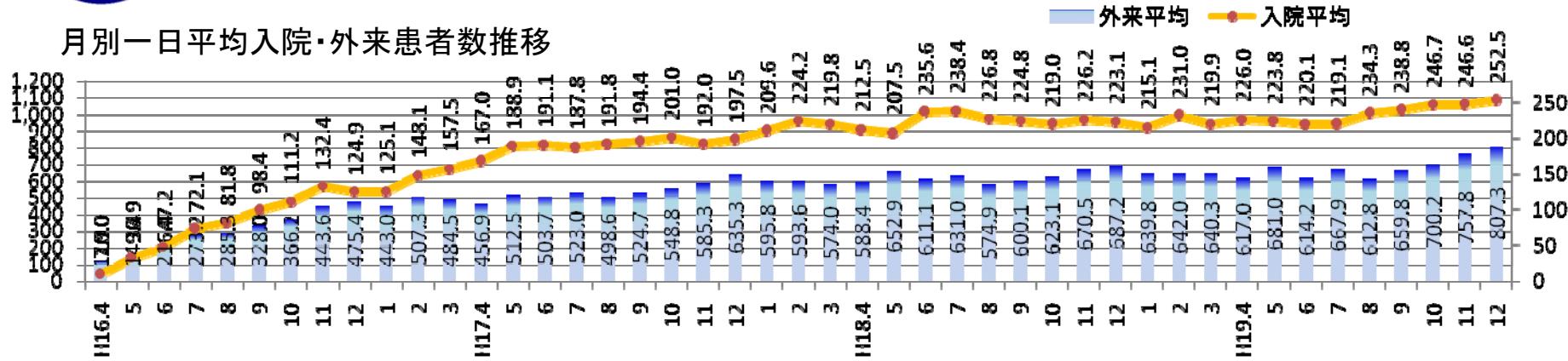
委員会は27委員会12部会1WG



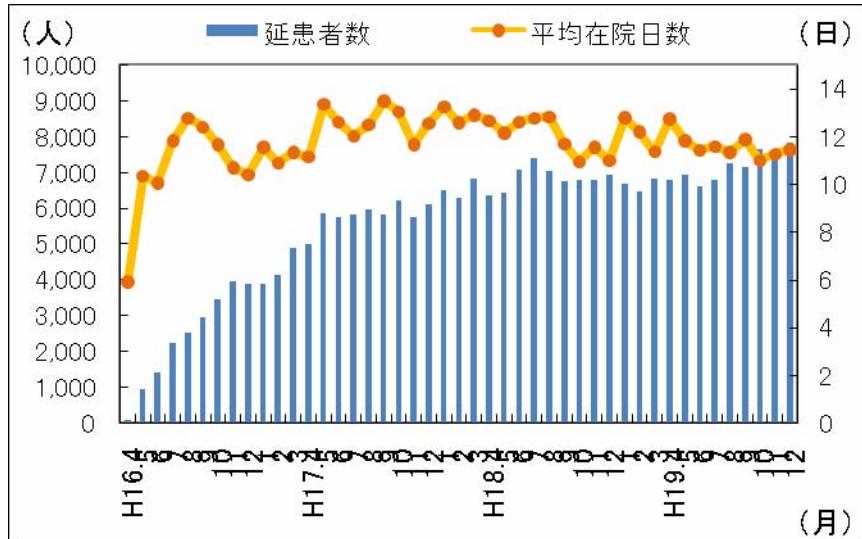


6. 北社保の患者さん(1)

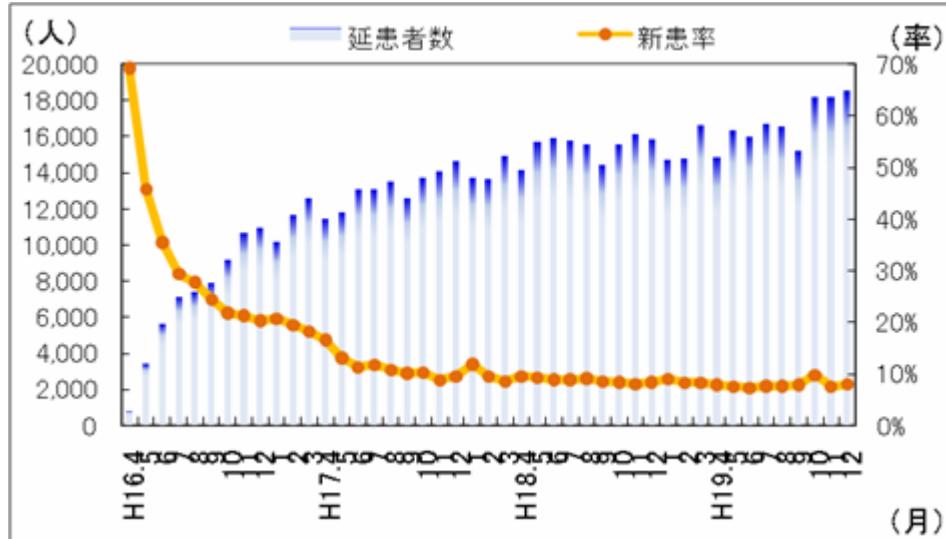
月別一日平均入院・外来患者数推移



平均在院日数・入院延患者数推移(11.5日、7827人)

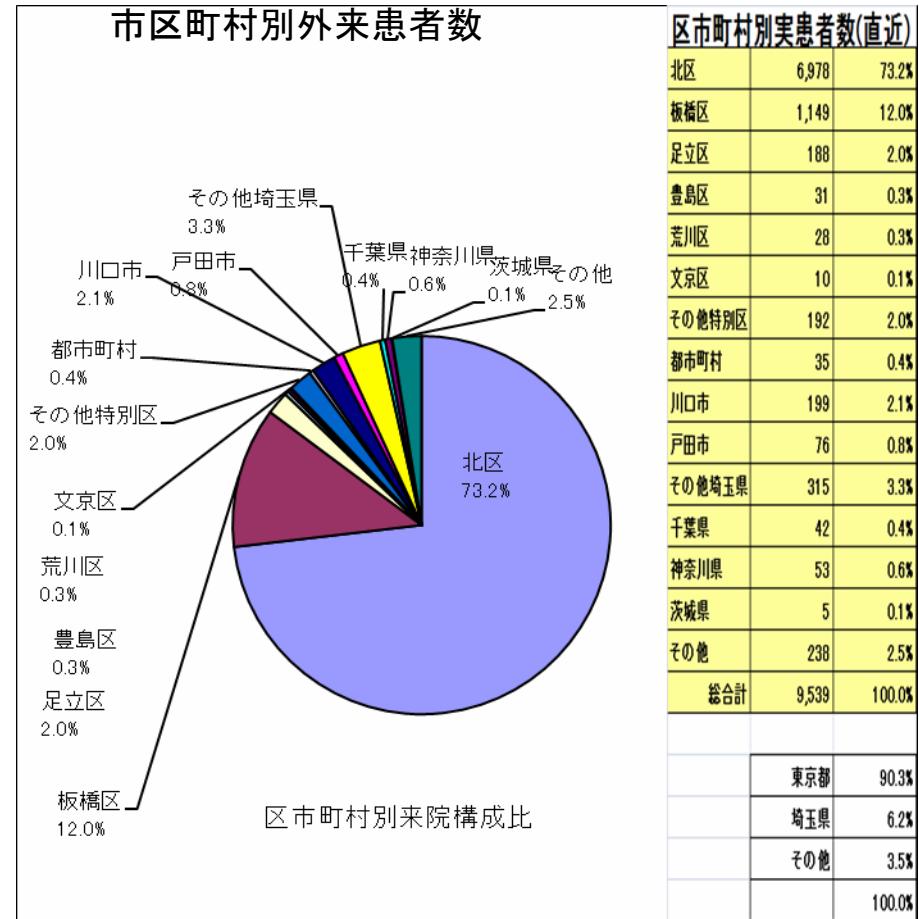
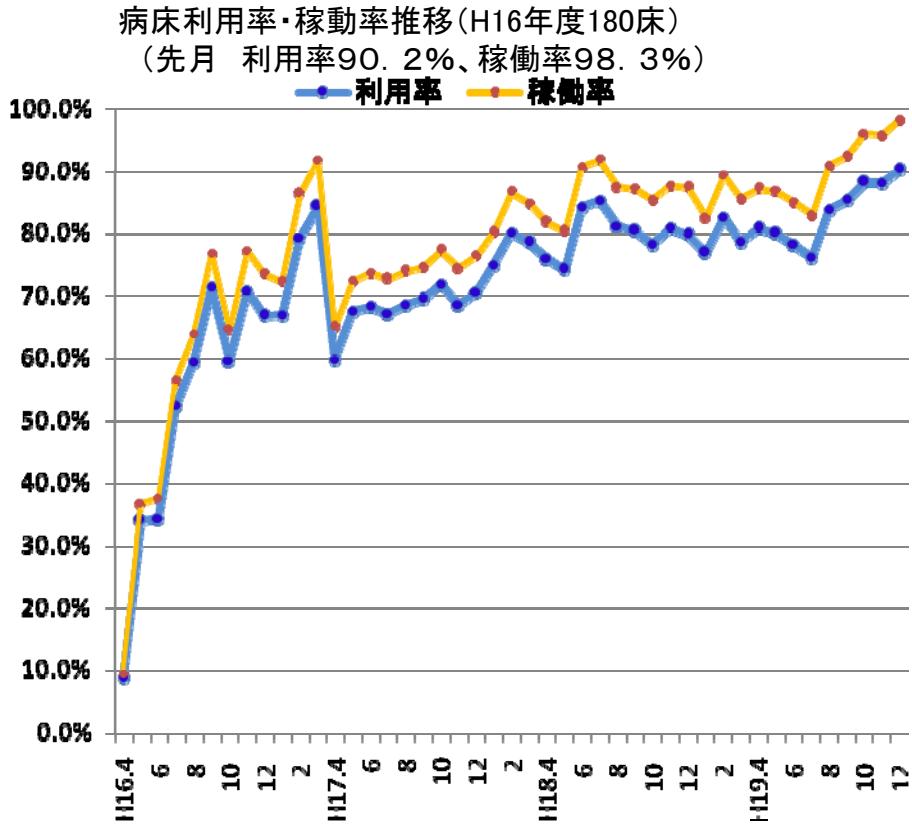


平均外来新患率・外来患者延数推移(8.0%、18568人)





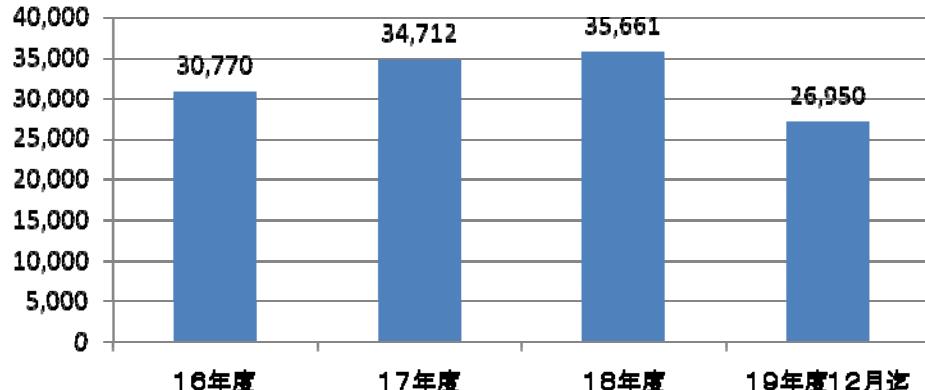
6-1. 北社保の患者さん(2)



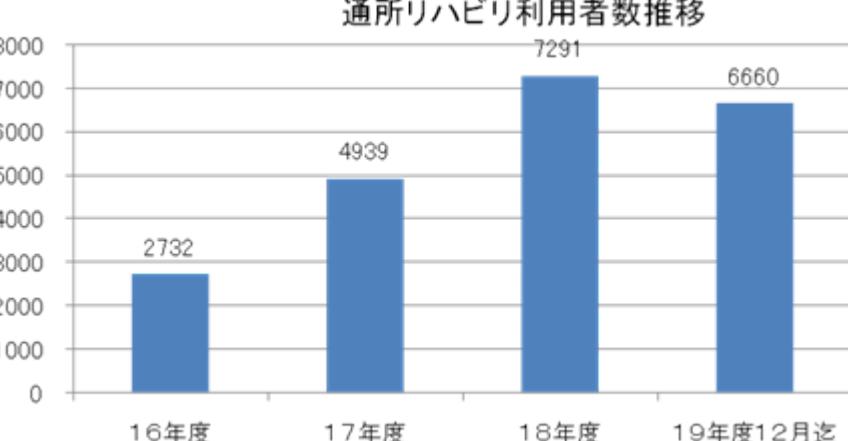


6. 北社保の患者さん(3) 老人保健施設／区民検診患者数推移

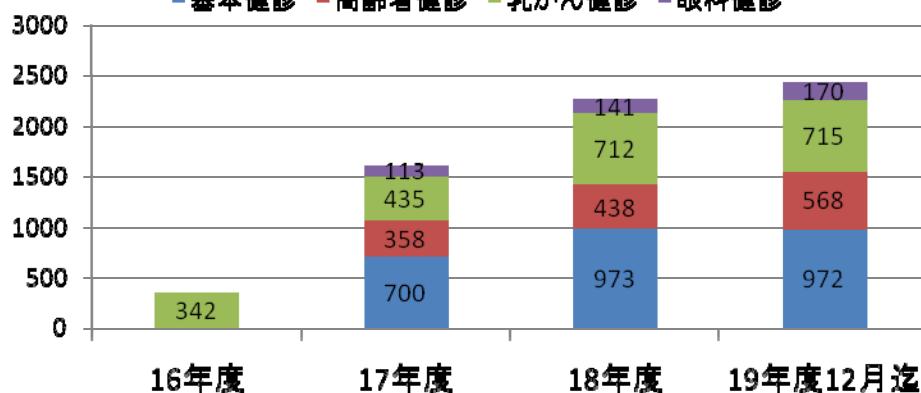
老健入所者数推移



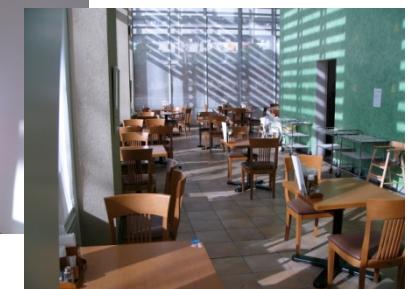
通所リハビリ利用者数推移



■ 基本健診 ■ 高齢者健診 ■ 乳がん健診 ■ 眼科健診



院内コンビニ・外来食堂

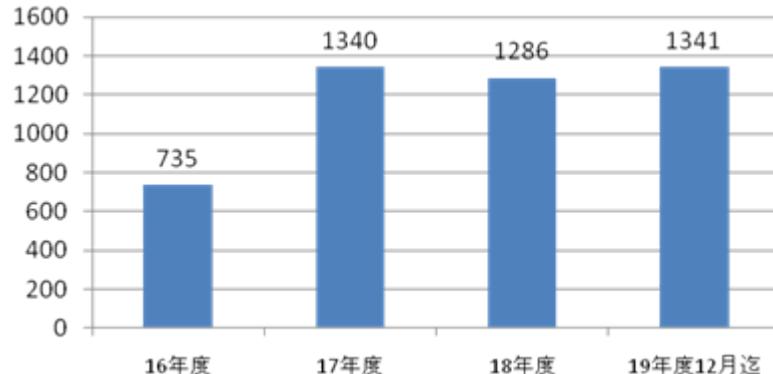




7. 北社保の4疾病

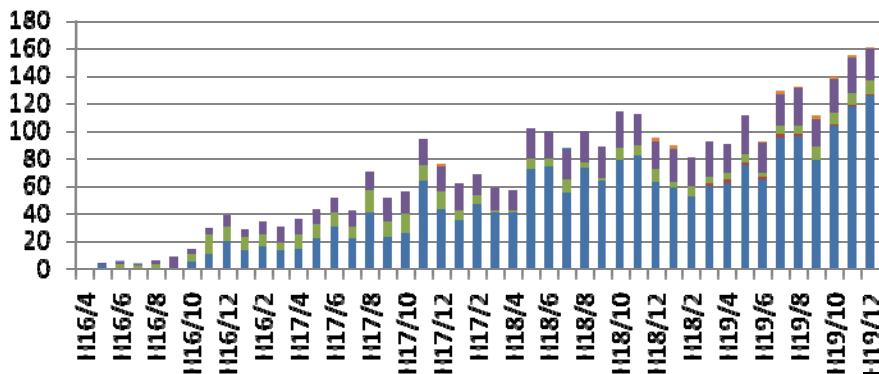
ガン・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病

新規ガン診断数

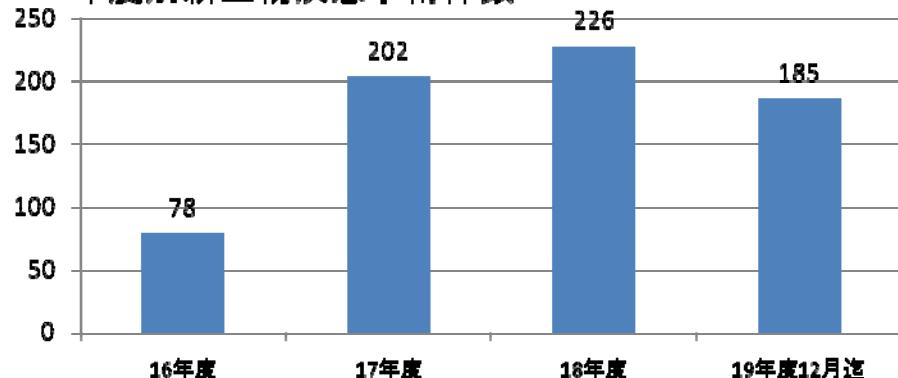


外来化学療法件数推移

■外科 ■小児科 ■内科 ■泌尿器科 ■脳神経外科 ■消化器科 ■整形外科 ■老健

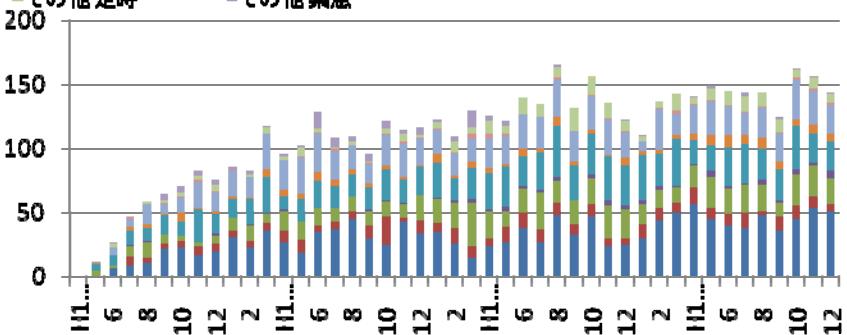


年度別新生物疾患手術件数



参考 麻酔件数

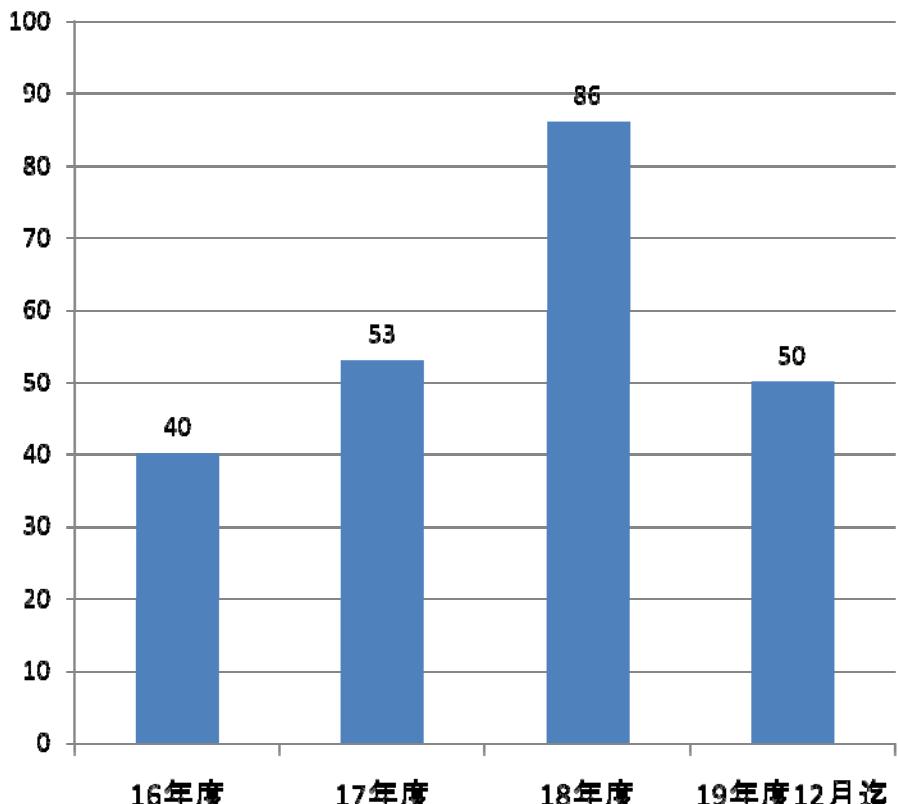
■全身麻酔 定時 ■全身麻酔 緊急
■脊椎麻酔 定時 ■脊椎麻酔 緊急
■その他 定時 ■その他 緊急
■全麻+硬膜外 定時 ■全麻+硬膜外 緊急
■局所麻酔 定時 ■局所麻酔 緊急



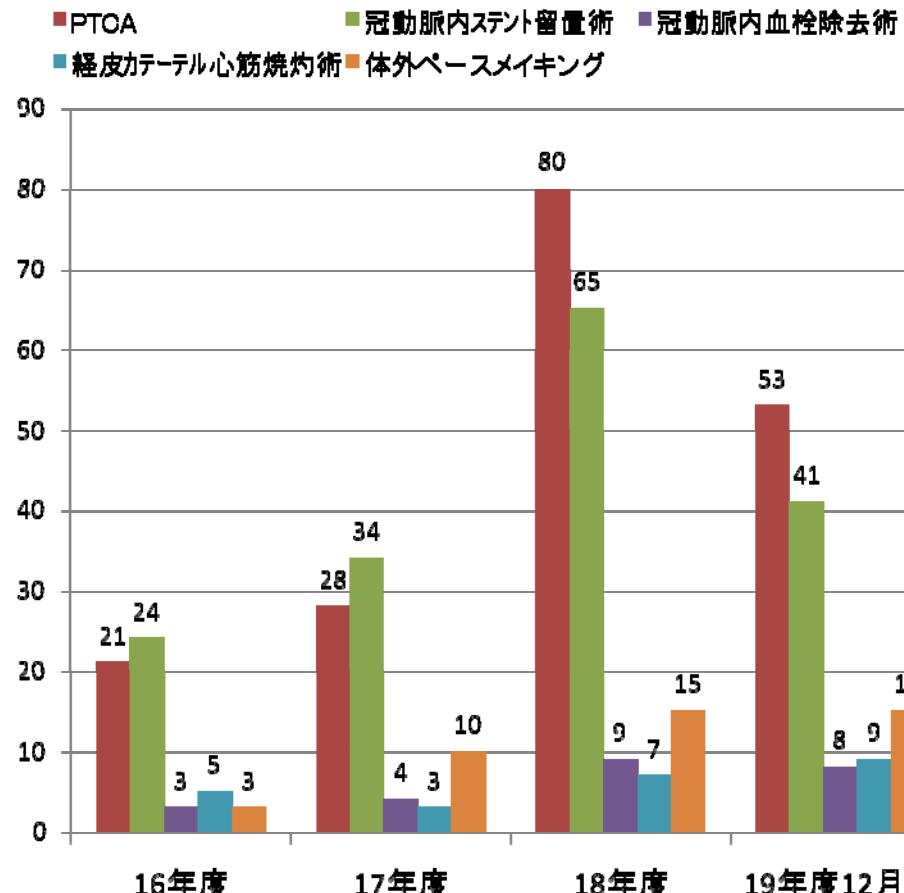


7. 北社保の4疾病 ガン・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病

新規心筋梗塞診断患者数



心臓カテーテル検査数

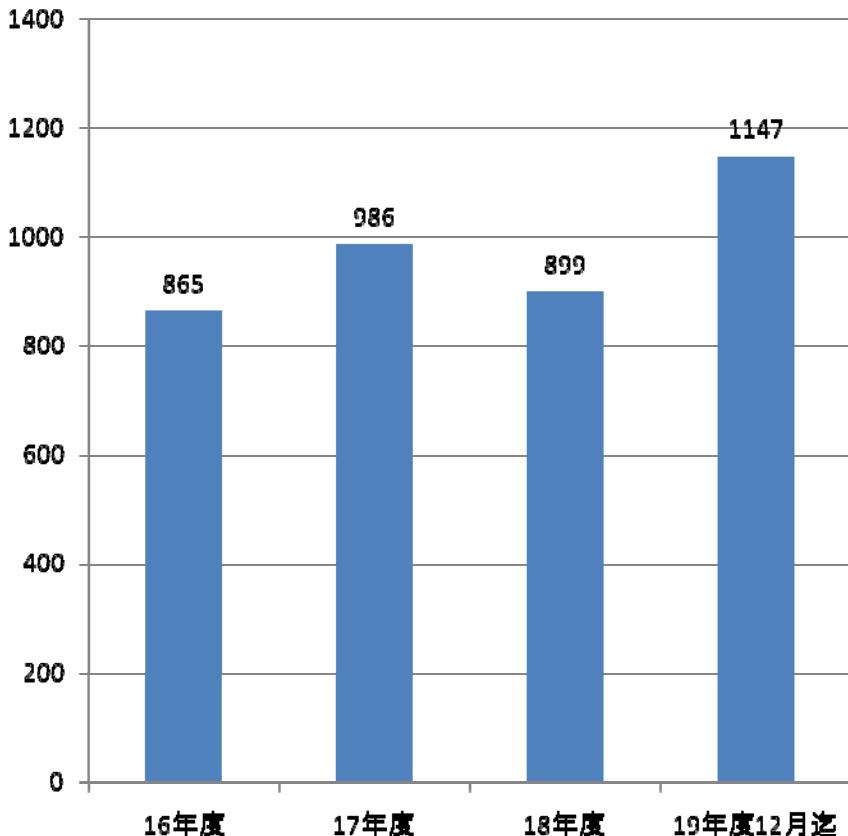




7. 北社保の4疾病

ガン・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病

新規脳卒中診断患者数



脳卒中ネットワーク(仮)

- 1) 東京都(東京都福祉保健局)による疾患別の医療連携の構想
 - ① 東京都による疾患別医療連携の取組み
 - ② 二次医療圏の構成と疾病別医療連携検討会の実施圏域
- 2) 区西北部脳卒中医療連携検討会
 - ① 事務局は日本大学医学部附属病院
 - ② 参加予定は各区医師会の医療連携担当者と参加予定病院の代表
 - ③ 参加予定病院

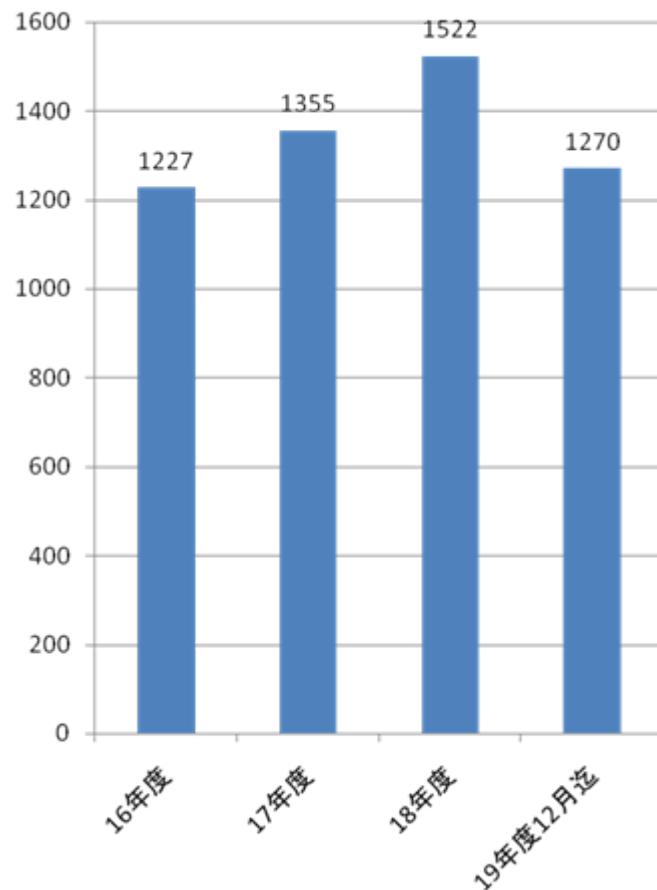
日本大学医学部附属板橋病院及び同練馬光が丘病院
帝京大学医学部附属病院
順天堂大学医学部附属練馬高野台病院
東京都立豊島病院 東京都立大塚病院
東京都老人医療センター **東京北社会保障病院**



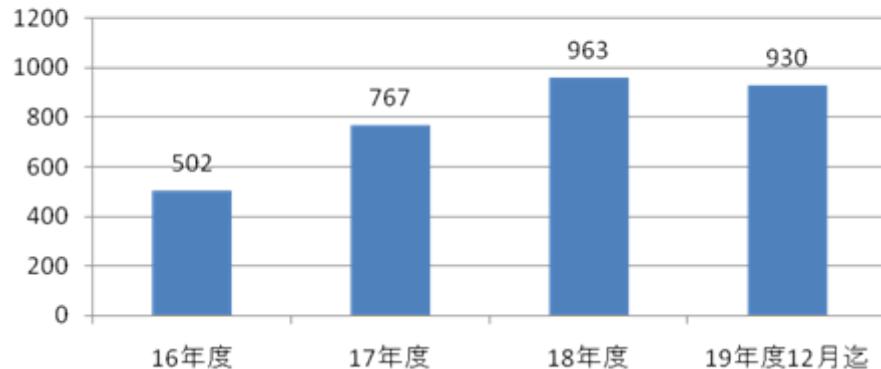
7. 北社保の4疾病

ガン・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病

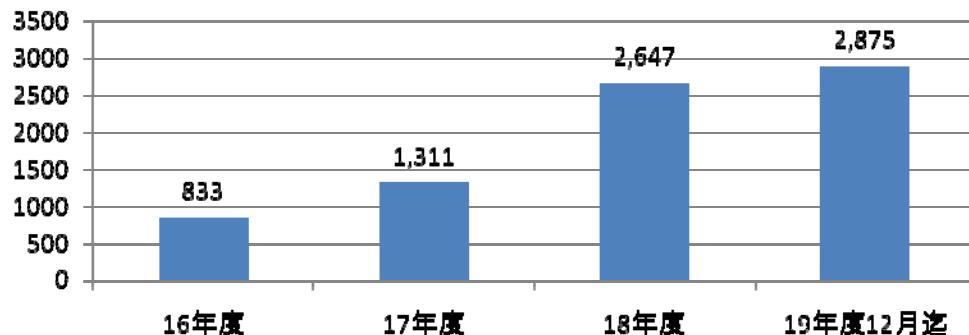
糖尿病診断患者延数



在宅自己注射指導管理患者数



参考:人工透析実施患者延数



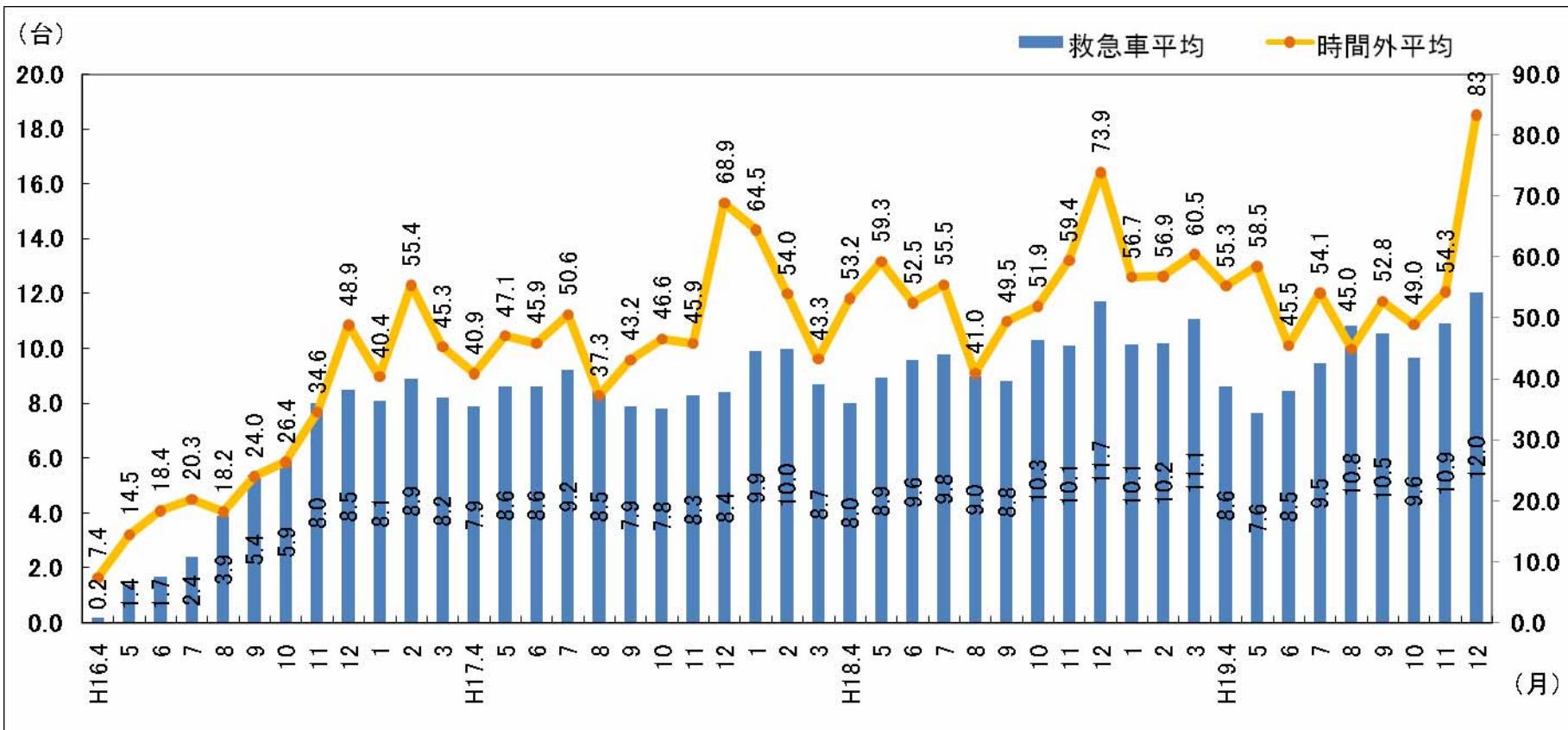


8. 北社保の5事業

救急医療・災害拠点病院・

へき地医療・周産期医療・小児医療(小児救急)

一日救急車・時間外患者数推移





8. 北社保の5事業

救急医療・災害拠点病院

へき地医療・周産期医療・小児医療(小児救急)

北区：北区防災計画

東京北社会保険病院は、
都指定災害拠点病院に準
ずる病院

として記載されている。

これまで災害拠点病院は、東十条病
院、しかし、昨年廃止となつた。

東京都災害時医療救護従事者登録

- ・各地区医師会から2班の登録
(医師、看護師、事務、各1名)
- ・東京北は北区医師会の要請により1班登録

災害支援派遣

1. 三宅島
2. 中越地震派遣
3. 中越沖地震



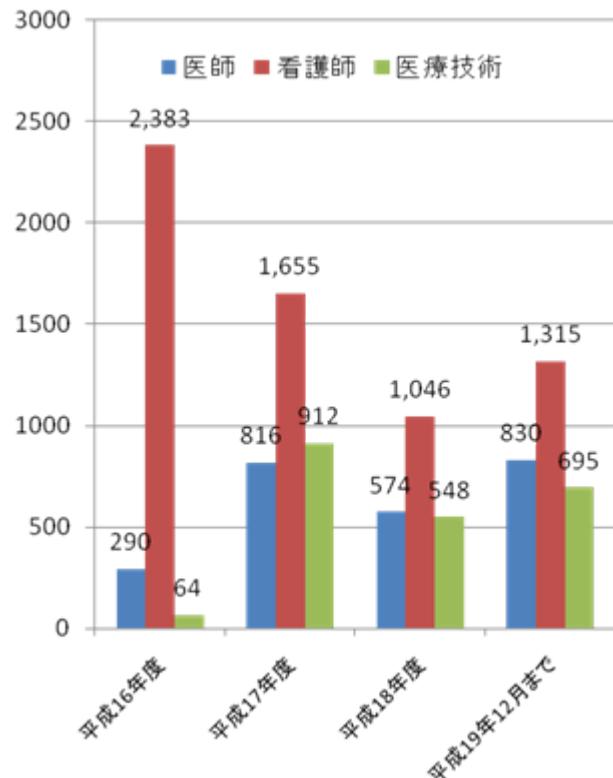
近隣に赤羽ハウス(医師住宅)
災害時に威力を発揮する見込み



8. 北社保の5事業 救急医療・災害拠点病院・

へき地医療・周産期医療・小児医療(小児救急)

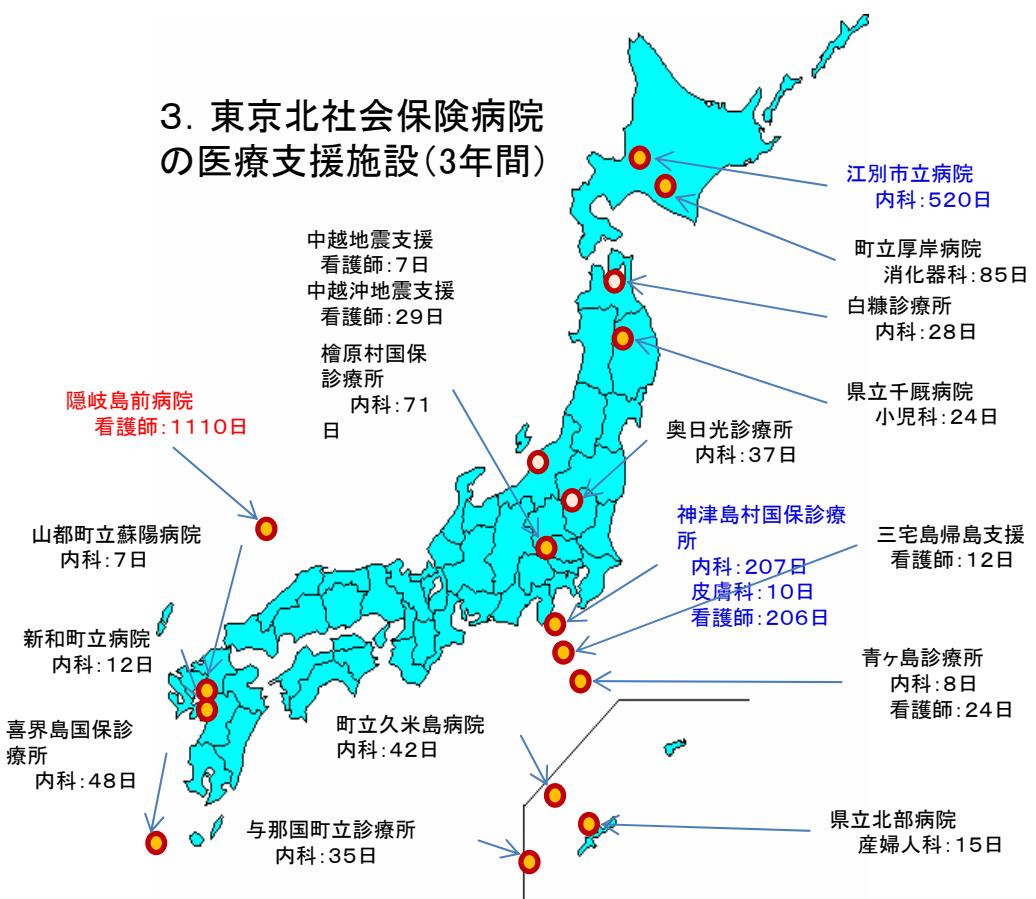
1. 地域医療支援延日数



2. 東京島嶼妊産婦支援事業 平成19年度実績

小笠原村 3名(予約1名)
神津島 3名(予約4名)

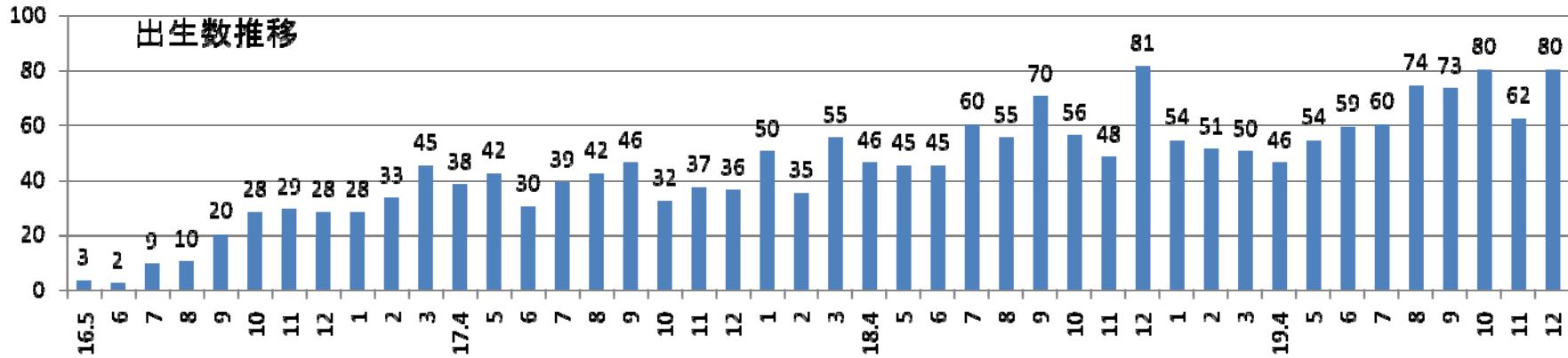
3. 東京北社会保険病院 の医療支援施設(3年間)



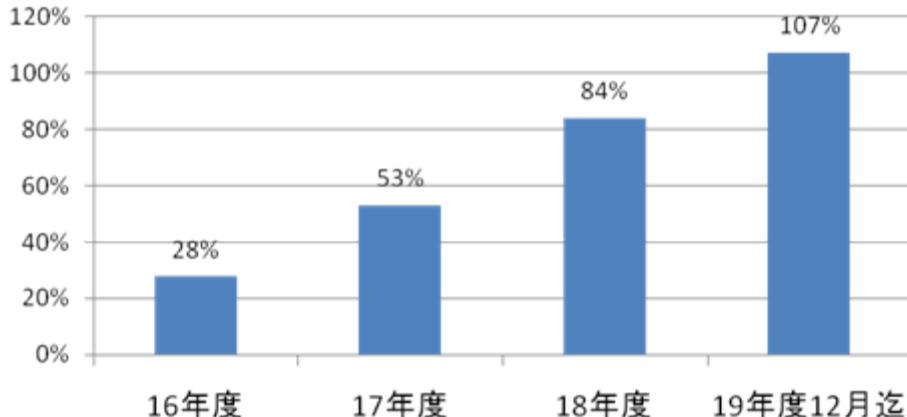


8. 北社保の5事業

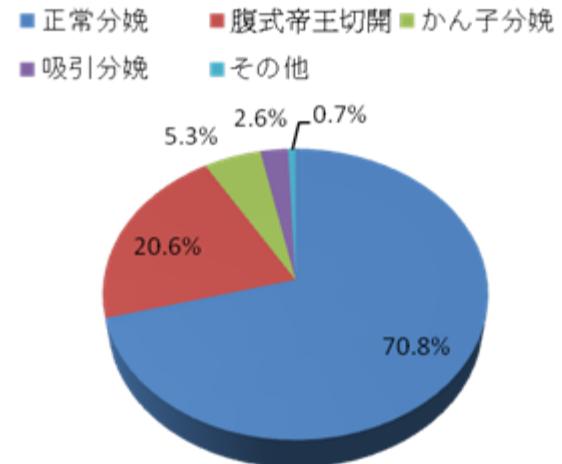
救急医療・災害拠点病院・ べき地医療・周産期医療・小児医療(小児救急)



未熟児室稼働率



分娩手法:H19

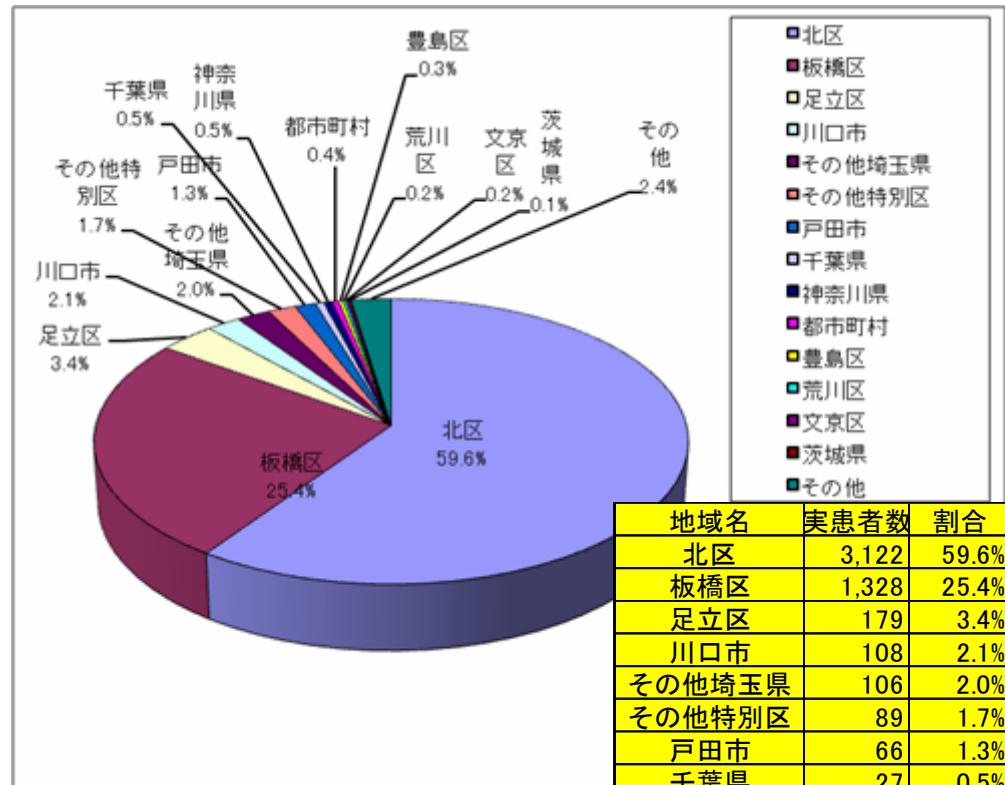
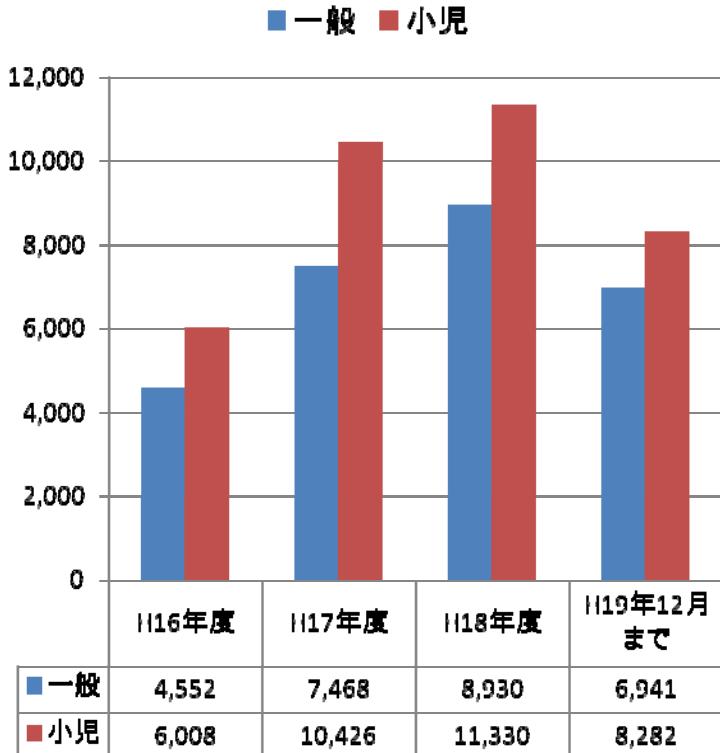




8. 北社保の5事業

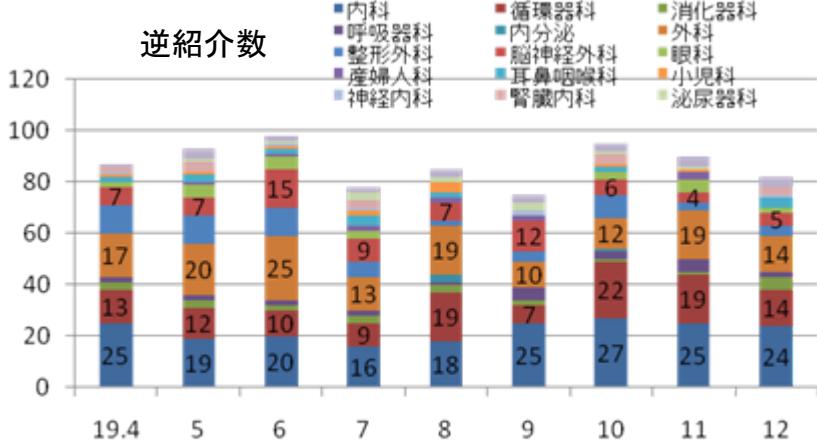
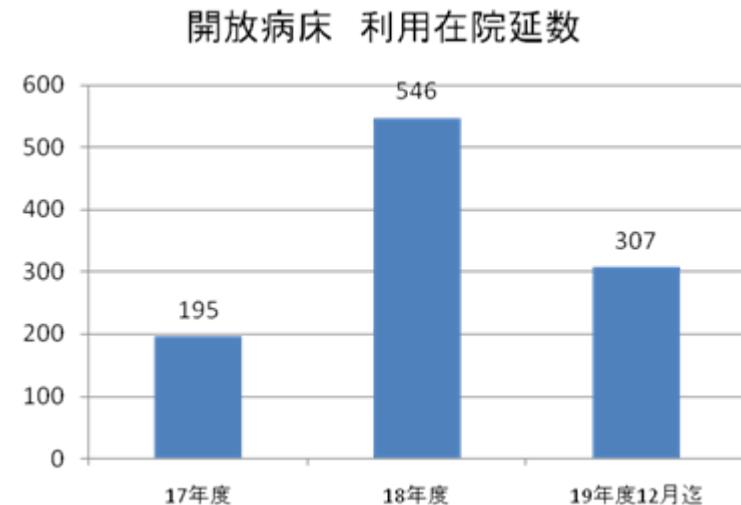
救急医療・災害拠点病院・ へき地医療・周産期医療・小児医療(小児救急)

患者数推移: 小児時間外





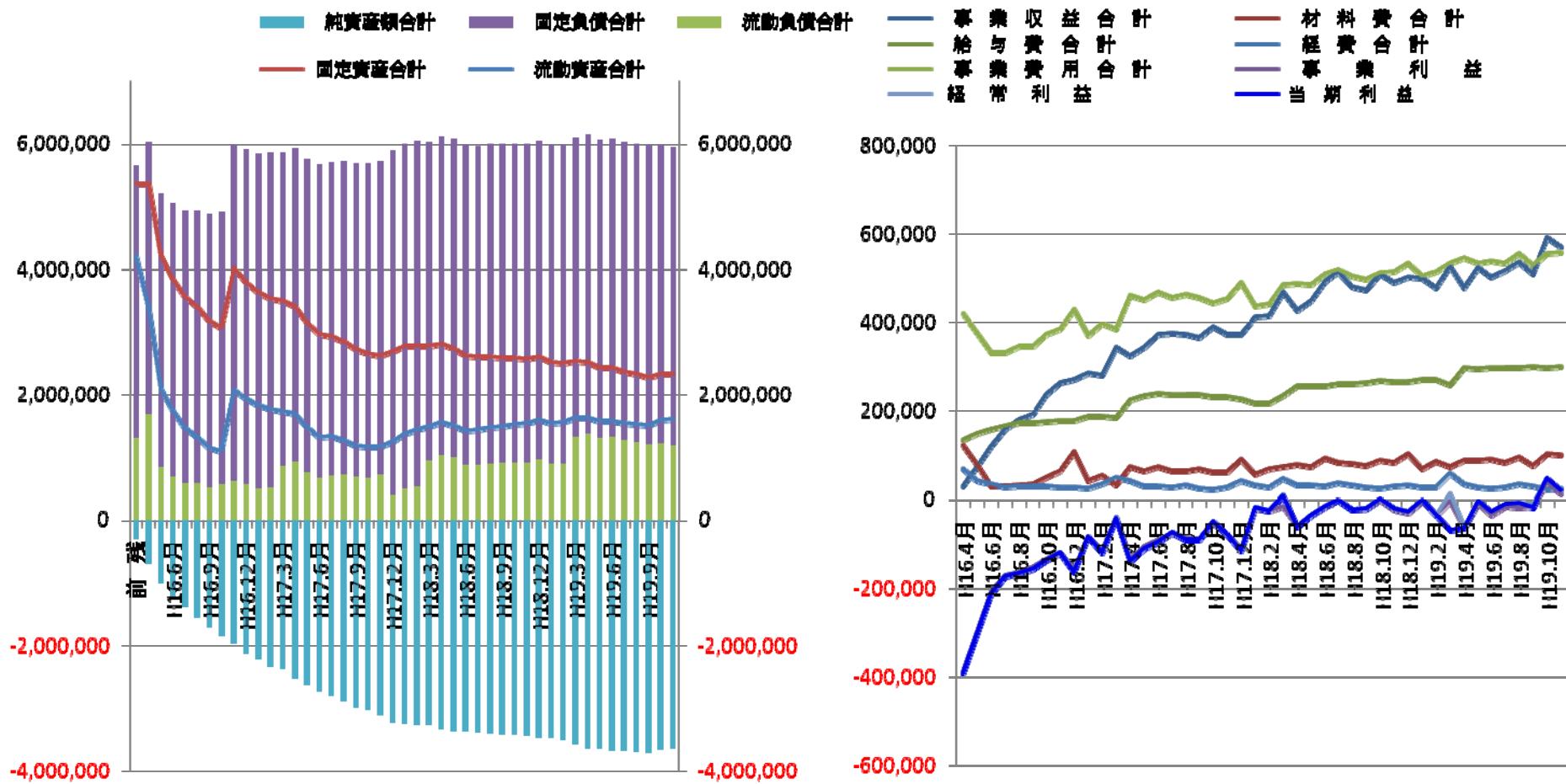
9. 地域医療連携(1) (紹介数・逆紹介数)



	04年	05年	06年	07年12月 迄
MRI(委託)	30	188	311	249
当院件数	1,527	3,535	4,075	3,321
共同利用率	2.0%	5.3%	7.6%	7.5%
CT(委託)	13	82	85	81
当院件数	2,362	7,917	7,391	6,427
共同利用率	0.6%	1.0%	1.2%	1.3%

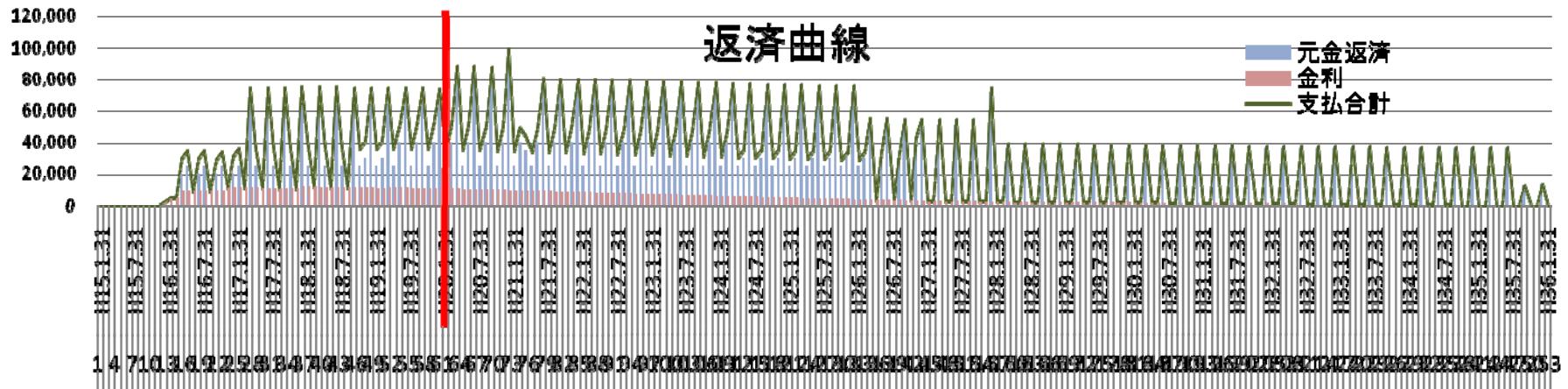
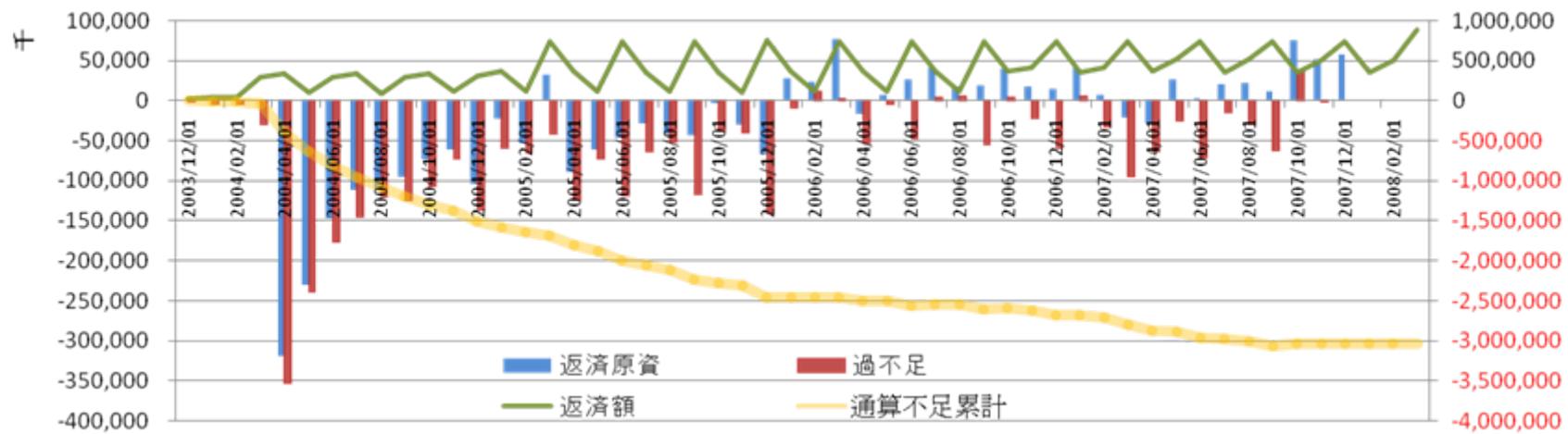


10. 北社保の財務 連結(老健含む)BSとPL





10-1. 北社保の財務 資金収支状況(千円)





現在の問題点

1. 施設の改善

外来(産科・小児科)が狭隘。

病床不足地域であり、可能であれば増床したい。

2. 収支の改善: 病床利用率の向上、業務フローの改善

280床の規模での特徴ある医療を検討したい。

3. 整理合理化: なんとしても引き続き、公的病院として存続、現在の運営形態をお願いしたい